

EURO 90 -2024 ヨーロッパ車 90 分間耐久ボンダーリレー2024

「EURO 90 - 2024」はヨーロッパ車による 90 分間耐久レース形式のスポーツ走行会です。トランスポンダー(自動車番読取装置。以下略:ボンダー)をリレー形式で継いでいくことで、普段お乗りになっているオーナーカーで参加できます。

ヨーロッパ車をこよなく愛し、モータースポーツの楽しみ方を少しでも感じて頂ければ幸いです。

参加者の皆様が、普段クラブマンレースに参加されている車両や、普段お乗りになっている車両を使い、ドライビング技術を向上させながら、サーキット走行をより安全に、気軽に楽しんで頂く事を目的として開催しています。

決して、勝利や入賞する事だけが目的の競技レースではありません。また、競技レースへのステップアップを目的としたレースでもありません。参加車両のパフォーマンスの向上も大切ですが、スポーツマンシップとマナーを重視し、モータースポーツライフを気軽に楽しんで頂くためのイベントです。

ご自身の勝利よりも、無理なドライビングによる接触事故等を避け、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った走行を行った結果から生まれる、フェアな駆け引きやサーキットの雰囲気を楽しむ、真に高尚な趣味として参加して頂いております。サーキットを使用した危険を伴うスポーツです。いかなる場合も参加者の自己責任となります。

競技レースではありませんが、レース形式の開催方式を採用している事と、上記趣旨を具現化するため以下の項目を規定します。

2024 年 6 月 24 日改訂

■概要

●イベント名称

【 EURO90 - 2024 】ヨーロッパ車 90 分間耐久ポンダーリレー2024

●決勝レースの長さとお出走台数

90 分間レース/最大 20 チーム

●ドライバーの運転時間

15 分以上 40 分未満 ※時間内の車両乗換は可(ポンダー付替えを有する事)。

●参加費 1 チーム 税抜 5 万円

2 台以上 / 3 人以上 ※ピットロード上のドライバー交代は無し。

指定エリアで車両入替/ドライバー交代/ポンダー付替え

●予選

無し / くじ引き

■レース

●スタート手順の進行 [WEC 風スタート]

ル・マン方式整列(ホームストレートにグランドスタンド向くように斜め)

→スターターの合図で先頭 1 台目から走行開始、2 台目以降順次 1 台ずつフォーメーションラップ(1 周回)

→ローリングスタート方式で 1.5 ポストからスタート。

※整列先頭 1 台目の発進(スターターの合図)から計時スタート。

※1.5 ポスト(S 字)まで追抜き厳禁

●ローリングスタート

1.5 ポストの緑旗振動提示でスタートとする。(1 ポストでは黄旗 1 本振動)

※第 1 コーナー事故誘発を避けるため 1.5 ポスト(S 字)通過するまで追抜き厳禁。

※1.5 ポスト通過前にグリッド順をキープせず、追い越した車両は『ジャンプスタート』と判定されます。

●1 分前/30 秒前ボード

RQ(1 分)またはメインフラッグタワー(30 秒)からボード提示。

MC による場内アナウンスで 10 秒前よりカウントダウン。

※上記により 5 秒前ボードは必要としない。

※熱中症対策としてエアコン利用可(Eg 掛けたまま実施)

●フォーメーションラップ

この周回中には、スタート練習や隊列を乱したり追い越したりすることは禁止。1 列整列し、前車走行ラインから左右にハミ出すことはできない。

フォーメーションラップ時に何らかの問題が生じ、赤旗の場合、レース時の赤旗中断同様にピットロードに入り、ピットエンドに整列停止。SC 導入は無し。また赤旗中断時間も決勝周回時間に含まれる。

●指定グリッドにつけなかった車両

グリッドにつけなかった車両はピットスタート。ピットレーン出口で待機し、最後尾車両が第 1 コーナー出口を通過し、出口シグナルにグリーンランプが点灯すればスタートすることができる。

●コースイン・コースアウト

コースイン時は走行車両との合流に最大限の注意し、第 1 コーナーをクリアするまでコースの右側を走行してください。コースイン・コースアウトの際、走路とピットロードを区分するホワイトライン及びイエローラインを

いかなる方向からも横切ってはならない。

※ル・マン方式整列のため、グリッド整列は A ゲートよりピットロード逆走の上、ホームストレートに出て、グリッド順に停車する。その際、バックギアの使用を許可する。

●熱中症対策

耐久走行時のエアコン使用を推奨する。

※ル・マン方式整列によりレコードラインに影響少ないため。グリッド付け間も AC 利用可 (Eg 掛けたまま)

※水滴に異常が確認された場合、オレンジボールフラッグ/ゼッケンボードにて提示。

●ピットストップ(A パドック指定エリアでのストップ)

ゴールするまでのレース中に少なくとも 2 回のポンダー付替え(車両入替)を伴うピットストップが義務付けられる。このポンダー付替えは、降りたドライバー(前走車)と乗り込むドライバー(次走車)が異なるという意味も含み、同じドライバーが一旦降りて、異なる車両に続けて乗り込んでもそれはドライバー交代とは認められない。また同じ車両をドライバー交代だけの連続走行も認められない。必ず前走車・次走車でポンダー付替え作業を有する事。

●待機/交代エリア

ドライバー交代可、ポンダー付替え可、軽作業可、給油禁止

●ポンダー付替え

次走車(これからコースインし走行する車)は走行前待機エリア A/B から車両交換エリアへ移動し、前走車(コース走行後パドックインしてきた車両)とポンダー付替えする。走行終了した前走車は速やかに走行後保管エリア C/D へ移動すること。その際、他車両ならび作業中のピット要員に注意する事。

また車両入替、ドライバー交代時の作業はポンダー付替えのみとし、他作業は走行前待機時に実施する事。

■ピット作業

●サインエリア(走行しているドライバーにボード提示するエリア)

ピットクルーの行動範囲には制限があり、ピットロード内の黄線(イエローライン)までとする。

●ピット作業エリアでのエンジン停止

次走車両はドライバー装備品ならびシートベルト装着、ポンダー付替え後にエンジン始動すること。

●ピットレーン/A パドックの速度

ピットレーン通過速度は 40km/h 以下。A パドック内は 20km/h 以下を厳守すること。

なお、オフィシャル/監視員の確認にて「速度超過/危険」と判断した場合、ペナルティを科す場合がある。

●燃料補給

レース走行中の途中給油は認めない。開催中ガソリンスタンドへの導線無し。走行前に給油を済ませておくこと。給油の際はサーキット併設ガソリンスタンドを利用。金属携行缶などの利用は禁ずる。

●ピットロード

12 番～32 番ピット間は封鎖。ペナルティ及びオレンジボール対象車のみ通過。

基本的なドライバー交代や軽作業は A パドック指定エリアへ誘導。

●パドックイン(ピットイン)/パドックアウト(ピットアウト)

パドックインは特別ゲート(12 番ピット脇)より、パドックアウトは C ゲート(32 番ピット脇)より行います。

ピットレーンを優先とし、Aパドックからのコースイン車両はオフィシャルの指示に従うこと。

各ポイント監視員付き

※A ゲート(1 番ピット脇)、B ゲート(コントロールタワー横)は封鎖。

●無線機

無線機使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。

■赤旗(レッドフラッグ)時の対応

競技を中止または中断にする必要があると判断した場合、各ポストより赤旗を提示。赤旗を確認したコース上の車両は他車両を追い越すことなく走行し、安全な速度でピットロードへ戻って下さい。ピットロード上では一切の作業が禁止となります。

ポンダー付替え、軽作業はパドックイン(ピットイン)し、Aパドック指定エリアでのみ可能。ただし、パドックアウト(ピットアウト)はピットレーン車両のコースイン優先。

※赤旗掲示中は追い越し禁止。中断時間も決勝周回時間に含まれる。

●赤旗解除後、ピットエンドで整列待機し、出口シグナルのグリーンランプ点灯後に再スタート。第1コーナ一事故誘発を避けるため 1.5 ポスト(S 字)通過するまで追抜き厳禁。

■タイムスケジュール等

タイムスケジュールはイベント主催者規定による。タイムスケジュールはイベント当日に変更する事がある。

■ペナルティ

サーキットを走る上でのマナーを心掛け、実行して頂ければ下記のような規定とは無縁です。この規定は主役である皆さんに「サーキットを安全で楽しく走る」を続けて頂く為、つい熱くなりしがちなサーキット走行で、マナーとは何か、安全とは何かを忘れないで頂く事が目的です。また、モータースポーツはスポーツです。スポーツマンシップに則った行動を常に心掛けましょう。ペナルティを科す事が本来の目的ではありません。ペナルティの確認、判定は全てサーキット監視センターのモニターと連携して行われます。

●発生理由や罰則が科されるかどうかを問わず、管制員、競技長から他車との接触の判定を受けた場合には、失格を科する場合があります。

●フラッグ違反ペナルティ

フラッグの見落としは重大な事故に繋がるため、フラッグ違反があった場合は以下の規定を適用します。(大会主催者側からの指示がある場合は、そちらを採用)フラッグについてはフラッグの種類とフラッグの意味ページを参照下さい。また、その他メインポストなどから提示されるドライブスルーペナルティやライトオン表示などもあるので注意する事。該当ドライバーの順位降格または失格とする。

●救済措置

決勝レース中にコース内で車両停止した場合、レッカー車等により車両をリペアエリア(パドック)まで運ぶ「救済措置」をとることがある。その場合は、各大会の特別規則書または公式通知で示される。また停止位置や状況によっては「救済措置」が行われない場合もある。走行終了 30 分前以降は回収しない。停止位置が安全な位置であればそのまま現状維持。ドライバーはガードレールの外へ退避させる。危険な場所への停止車両は、安全な場所へ移動のみ。なお、ポンダーの先行救出は実施しない。そのため停止車両の周辺ポストからの受渡はない。ポンダーは車両回収後リペアエリア(場合によってBパドック)にて取り外し、Aパドック指定エリアにて次走車へ付替える事とする。

■レース終了と順位確定

レースの終了は**総合 1 位の車両が所定のレース時間を走破した時点**となる。順位判定は最終周回を完了し、本コースのコントロールライン上でチェッカーフラッグを受けた車両に対してのみ行われる。したがってピットロードや A パドックでレースを終えた車両は完走とは認められない(チェッカー優先)。

■抗議、判定に関する問い合わせ

抗議は、規定の抗議料を添えて文書で競技長に提出する。抗議や判定に関する問い合わせができるのは、競技参加者(エントラント)、チーム監督(競技責任者)のみであり、ドライバーが抗議することはできない。抗議は他チームの車両規定違反に関するものが多く、レース後になかなか暫定結果が出なかったりする場合もある。なお各大会の規則で定められている以外の抗議・アピールについては一切認められない。

■参加者資格

- 有効な普通自動車免許保持者で、ヨーロッパ車オーナー及びその車両で参加する者とする。(免停など失効免許証は不可。仮ナンバーでの自走来場は不可。)
- サーキットの基本走行規則を熟知している事。
- 無理なドライビングによる接触事故等避け、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った走行が出来る事。
- 規定を厳守できないエントラント及びドライバーは参加をご遠慮ください。またレギュレーション違反の場合、参加をご遠慮頂く場合がございます。

■参加者服装

長袖、長ズボン、手袋、ヘルメットは必ず着用して下さい。**難燃素材の服装厳守**となります。出来る限りレーシングスーツ、レーシンググローブ、レーシングシューズの着用をお願いいたします。**耐火炎構造であれば非公認でも可**。スポーツ走行向けギアを最低限着用

※耐火炎構造では無いカート用スーツ NG

※オープンカーはフルフェイスヘルメットのみ(ジェット型 NG)

■基本参加車両規定

- ヨーロッパ車限定(日本車 NG) 前後牽引フック必須

●ゼッケン

左右両ドア、ボンネットの 3 枚 剥がれない様に貼付ける事、養生テープ NG。

●トランスポンダーの取付位置

確認右窓内側への貼付けを推奨。タオル等で養生しドアポケット利用は自己責任とする。

※計測不良発生の場合、オレンジボールフラッグ/ゼッケンボードにて提示。

●ハンディキャップ

チーム平均ラップ	ハンディキャップ 減算周回数
0:01:10 以上	-15
0:01:10 ~ 0:01:12	-12
0:01:12 ~ 0:01:15	-9
0:01:15 ~ 0:01:17	-6
0:01:17 ~ 0:01:19	-4
0:01:19 ~ 0:01:22	-3
0:01:22 以下	0

●表彰クラス分け

募集団別

■参加車両規定

●シートはフルバケットシートを強く推奨。ローバック(コブラ等)使用禁止。シートは4点以上でフロアに確実に固定する事。

●シートベルトハーネスは4点式以上を使用する事。

●全てのライト類には脱落・飛散防止のテーピングを透明のテープで行う事。養生テープ・セロハンテープ禁止。外部の照明器具は左右ヘッドライト、前後方向指示器、ストップライトおよび後部テールランプの機能を備えていなければならない。競技の間、常に作動する状態でなければならない。テーピングで光源を妨げない様にする事。

●ナンバー付き車両は、道路運送車両法を厳守する事。自走の際は保安基準適合音量を超えない事。走行不能(コースアウトなど)の際、車両回収時に必要な強度を持つ牽引フックを車両の前後に装着する事。(純正フック使用可)

●消火器を搭載する事が望ましい。(内容量 1.5kg 以上)

●参加者は事前に主催者の認可を受けたカーナンバーまたは事務局の用意したカーナンバーを、左右ドア、ボンネットの3カ所に雨風等で剥がれないよう確実に貼り付ける事。養生テープの使用を固く禁ずる。ガムテープあるいはビニールテープを使用の際は、幅 38mm 以上のものでボディへ確実に固定する事。(カーナンバーはサークルとの色の見分けが出来れば真円または正方形で参加者が用意可能)。

●自動計測装置(ポンダー)は、ビニールテープまたはガムテープでセンサーが剥がれないように確実に車内右後ろガラス部分に固定する。走行終了後は主催者受付に必ず返却する事。

●ホイールバルンサー、ブレーキ/クラッチフルードキャップ、冷却水補助タンクキャップ、バッテリープラス端子、オイルレベルゲージはテープ等を貼り、クラッシュなどで流出・脱落しないようにする。純正フューエルタンク使用の際、注入口からの漏れが無いようにフューエルキャップをテープ等でラッピングする事。

■ドライバー

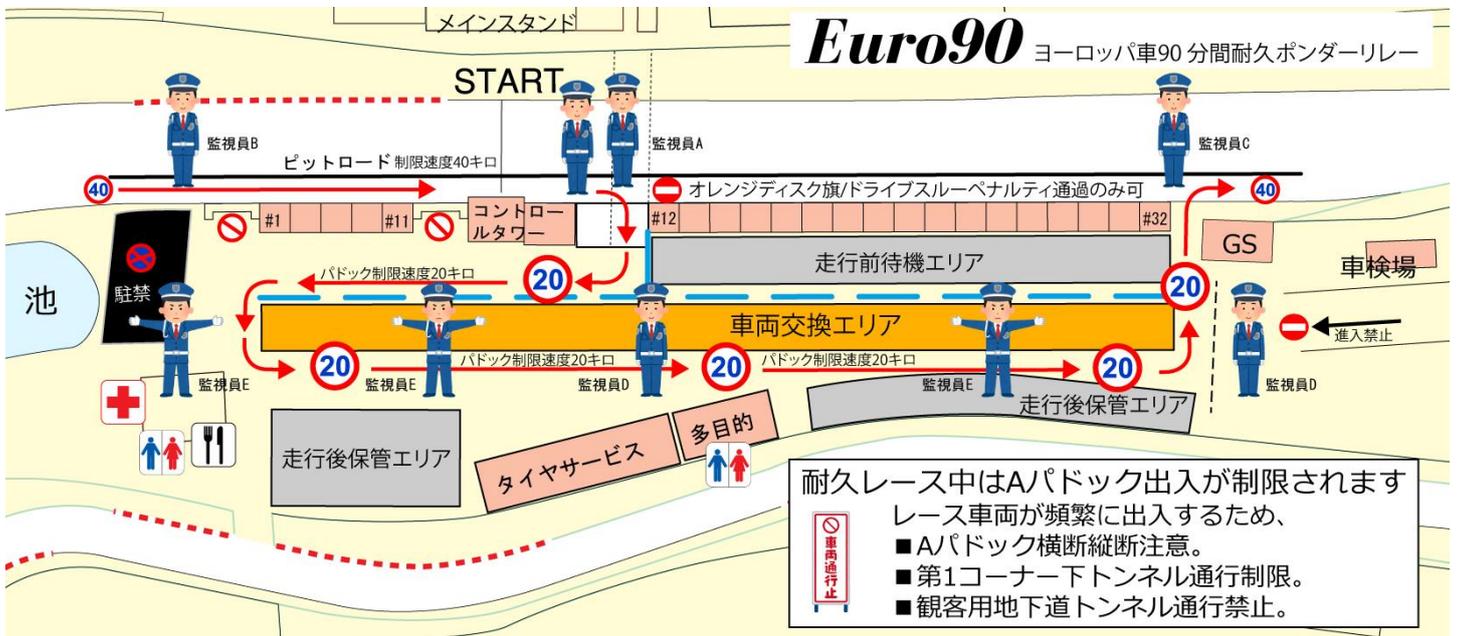
- 参加申し込みが受理されたエントリードライバー以外の走行を認めない。
- ブリーフィングに出席しないドライバーは出走を認めない。(ブリーフィングは時間厳守です。タイムスケジュールの遅れによる出走可能時間の短縮等に繋がりますのでご注意ください。)
- イベントに相応しくないと思われるエントリーおよびドライバーは退場処分とする場合がある。

■厳守事項

安全に走行できるよう、主催者スタッフだけでなく、参加者全員参加型の運営が望ましい。
コース、ピット、パドック内は禁煙。喫煙は指定の場所で行う事。
他の参加者や見学者の迷惑になるような行為をしない。
近隣の迷惑にならない様、行き帰りも含め、騒音/走行マナー等には十分注意する。

■備考

ピットパドック員 6名+3名配置予定



決勝の監視員配置(第2業務無線機)

- (A)タワー下 2名:ペナルティボード対応、ピットロード速度監視、車両チェック、車両誘導
- (B)ピットロード入口 1名:車両誘導、ピットロード監視
- (C)ピットロード出口 1名:車両誘導、ピットロード監視
- (D)パドック 2名:車両誘導、速度監視、ドライバー交代監視、ドライバー装備監視、窓空きチェック
- (E)パドック 3名:車両誘導、速度監視、ドライバー交代監視、ドライバー装備監視、窓空きチェック

ピットロードは#12～#32まで通行止め。オレンジディスク対象/罰則消化車両をピットエンド誘導

パドックインは特別ゲート(12番ピット脇)、パドックアウトはCゲート(32番ピット脇)

※Aゲート(1番ピット脇)、Bゲート(コントロールタワー横)は封鎖。